

令和 7 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市高隈グリーンカントリー		
所在地	鹿屋市上高隈町1910番地		
指定管理者	名称：大隅湖観光管理組合 代表者：組合長 岡本 孝志 住所：鹿屋市下高隈町5454-11 連絡先：0994-45-3032		
モニタリングの実施経過	●月例報告（毎月）	●事業決算の確認	
	●現地調査（6月）1回		
担当部課（問合せ先）	農林商工部ふるさとPR課	電話0994-31-1121	内線 3244

【モニタリングの総合評価】

- 指定管理者である大隅湖観光管理組合は、地元住民で構成された団体であり、自然豊かな高隈の資源を活用したサービス提供を図っている。
- 会計処理については適切な処置がされている。
- 施設運営については、コロナ禍の影響で受け入れ人数の制限を行っていた方針を継続し、「静かなキャンプ地」としてリピーターを獲得している。
- 秋季から閉設期間中は、有害鳥獣（イノシシ）による被害があり、今後も続く可能性が高いことから、利用者の安全面に配慮した運営が必要である。
- 今後は、令和9年度末施設の廃止・譲渡に向けて、指定管理者と意見交換、調整が必要である。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

- ・令和9年度末の当該施設の廃止・譲渡に向けて、適切に施設を維持管理すること。
- ・有害鳥獣（イノシシ）の被害への対応（柵の設置や整地などの検討）

《施設所管課が実施・検討する事項》

- ・指定管理者と当該施設の廃止・譲渡に向けた意見交換及び調整
- ・当該施設の廃止・譲渡に向けた準備・事務手続

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

①合目的性・公平性・効果性

- 令和6年度と比較して全体の利用者数は増えたが、単価の高いバンガローの利用者数が減ったことから、全体の利用料は減少した。

	令和6年度		令和7年度		差	
	利用者数	利用料金	利用者数	利用料金	利用者数	利用料金
バンガロー	47人	38,610円	31人	21,450円	△16人	△17,160円
テントサイト	186人	89,970円	235人	106,710円	49人	16,740円
合計	233人	128,580円	266人	128,160円	33人	△420円

(2)業務内容
①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）
○ 定期的な施設維持管理による機能性の確保がなされている。
②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）
○鹿屋市高隈グリーンカントリー条例等の規定に従い、概ね適正に運営されている。
○指定管理者の方針により、キャンプサイトの受入人数を制限しており、利用者数の増・収入の増加に繋がっていない。
○業務主任・会計主任と窓口・清掃等の担当者の連携により、適切な維持管理がなされている。
③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）
○事務・経理については、業務主任及び会計主任が点検を行っている。
○会計処理について、適正な処理がなされている。
④安全性（安全管理・緊急時等の対応）
○緊急時の組織体制が作成されており、安全管理は整っている。
⑤社会性（環境等への配慮）
○節電・節水など、環境に配慮した取組を行っている。
(3)事業収支
①経済性
○月例報告及び年度報告から、管理経費は効率的、効果的に使用していると評価できる。また、経理に関しては、会計事務所による確認も行われており適正である。
(4)団体の経営状態
①経営の健全性
○財務諸表等会計関係書類及び過去の実績から、経営に問題はないと判断する。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市高隈グリーンカントリー		所管課：ふるさとPR課
所在地	鹿屋市上高隈町1910番地		設置年月日：
設置目的	市民に健全な保健休養、研修及びレクリエーションのための場所を供与し、もって地域の活性化を図るとともに市民の福祉の増進に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市高隈グリーンカントリー条例 鹿屋市高隈グリーンカントリー条例施行規則		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	8,895 m ²
		延床面積	135.375 m ²
	《有料》		
	バンガロー (大)	宿泊（1泊）	休憩
		1棟につき 3,300円 5人を超える場合は、5人を超えるもの1人につき 660円	1棟につき 1,100円 5人を超える場合は、5人を超えるもの1人につき 220円
持込み テント	1張につき 550円	—	
事業概要	(1) 管理業務 ①利用許可等に関する業務 ②利用料金の徴収等に関する業務 ③施設及び設備の維持管理に関する業務 ④鹿屋市が必要と認める業務 (2) 運營業務 ①施設の利用促進とサービスの提供に関する業務		

2 経営分析評価指標

①事業収支	32,762円	④外部委託費比率	7.8%
②利用料金比率	9.5%	⑤利用者あたり管理運営コスト	4,936円/一人
③人件費比率	58.8%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	4,577円/一人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	210日	210日
開館時間		
事業開催		

4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸し室等 利用回数	バンガロー	31
	テント	235
	計	266

5 事業収支

(単位: 千円)

項目		実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
貸し室等利 用収入	バンガロー		16
	テント		111
	計	186	127
指定管理料		956	1,217
収入計 (A)		1142	1,344
人件費		396	772
光熱水費		110	110
修繕費		134	121
管理費		106	133
委託料		374	103
租税公課		22	60
その他			12
保険料			0
支出計 (B)		1,142	1,311
収支 (A) - (B)		0	33

指定管理者自己評価表

2026 年 5 月 14 日

指定管理者 大隅湖観光管理組合施設名 高隈グリーンカントリー

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	③・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	③・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	③・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	③・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	③・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	③・2・1
総合評価 (所感)	1日の宿泊者数を限定することでリピーターに繋がっていると思われる。 7年度においてもイノシシ被害が大きく、利用者の安全性・快適性を考慮した整備が今後の課題だと思われる。	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通じた指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。